

外部有識者点検対象事業に係る所見（案）

No.	事業名	所見	対応方針
015	放射性物質の輸送・貯蔵に係る安全規制の高度化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業との関連をもっと丁寧に説明すべき。（飯島先生） ・可能な範囲で、事業の「成果の概要や活用方針」を作成すべき。（村松先生） ・レビューシートに記載について、支出額10億円未満であっても、1者応札等に関する「理由及び改善策」欄に記載すべき。他事業も同様。（吉田先生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・拝承。本事業は輸送・貯蔵に係る安全規制の観点から課題となりうる事項について調査を行い、その調査結果を踏まえ、必要に応じて新たな安全研究事業を立ち上げるほか、関連する他事業へ調査・研究を引き継がせる事業である。本研究を引き継いだ事業との関連が明確となるように資料1-3（P16,18,19）の記載を修正する。 ・拝承。成果の概要や活用方針をまとめた記載を、資料1-3（P21）に追加する。 ・随意契約については、その詳細な随意契約理由を当委員会HPにおいて公表（時期未定）するとともに、事業者からのご意見をHP上で受け付ける。また、本事業を含む有識者点検対象事業については、今年度から、その他の事業については、来年度から、一者応札理由をレビューシートに記載する方向で検討する。（本事業については、P28,29参照）
029	使用済燃料等の輸送・貯蔵の分野における最新解析手法に係る評価手法の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・レビューシートに記載について、他事業に関する記載との整合性も踏まえ、アウトカム・アウトプットの記載を整理すべき（ガイド整備への活用はアウトカムとして整理すべきではないか。）。（飯島先生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・審査ガイドはアウトカムに分類されており、本事業の資料2-3（P38）の分類の記載に誤りがあったため、是正する。なお、レビューシートの活動実績には審査ガイドを含めていない。

外部有識者点検対象事業に係る所見（案）

No.	事業名	所見	対応方針
		<ul style="list-style-type: none"> ・コードのユーザーが入力するデータの品質確保も本事業の重要な要素であることから、ロジックモデル等の資料に明記すべき。(村松先生) ・一者応札の妥当性をどのように評価したのかの判断プロセスを可能な範囲開示する。他事業も同様。(吉田先生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拝承。入力するデータの品質確保については信頼性確認手法に含まれ、レビューシートを含めた関連資料に記載していたが、明確にわかるようにレビューシート及び資料 2-1 (P30)、2-2 (P31)、2-3 (P37) を修正する。 また、資料 2-3 (P41) に成果の概要や活用方針をまとめた記載を追加している。 さらに、本資料についても他事業との関連を示す記載を資料 2-3 に追記した (P34,35,36,39)。 ・ 随意契約理由及び 1 者応札理由の開示については、上記のとおり (本事業については、P47 参照)。また、契約金額の妥当性については、予定価格や契約金額の内訳を開示することは困難であることから、別途の方策を検討する。
020	発電炉シビアアクシデント安全設計審査規制高度化研究事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算執行の効率化に努めているとのことだが、具体的な効率化の内容を記載すべき。(飯島先生) ・ 規制活動において優先的に検討すべき着眼点を認識するため幅広いリスク評価研究が必要。また、適切な EAL と適切な防護対策の相乗効果を評価するような研究も必要。(村松先生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 3-4 のレビューシートの記載を修正した (P51)。 ・ 拝承。最新知見を踏まえ、合理性、客観性を向上するために不確かさを極力低減した PRA モデルの整備を進め、安全性向上評価や検査などの規制活動に活用する。また、オンサイトとオフサイトの両面から、より実効的な EAL や防護措置を検討するための事業を進めていく。

外部有識者点検対象事業に係る所見（案）

No.	事業名	所見	対応方針
		<ul style="list-style-type: none"> ・レビューシートの記載について、「技術的知見」などの抽象的な用語を避け、具体的な記載をすべき。（吉田先生） ・1つの事業者と複数の契約を結んでいる場合、支出額の妥当性等の検討にあたり、個別の契約について判断するだけでなく、総合的にも判断すべき。（吉田先生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 3-4 のレビューシートの記載を修正した（P48,49）。 ・拝承。内容を精査し、発注を統合することも検討する。 ・なお、一者応札理由の記載の追加について、（P52,53,54,55）参照。
023	技術基盤分野の規制高度化研究事業（リスク情報の活用）	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業の研究成果を PRA に組み入れて、安全性向上評価のレビューや SA 対策に係る検査の継続的な改善に役立てる研究をするべき。成果の統合化と活用のための研究の拡充・強化が望まれる。また、このような他事業との関連をロジックモデル等で明示すべき。（飯島先生、村松先生） ・大きなリスクがない分野の確認も含めてリスク評価の研究を実施すべき。（村松先生） ・リスクの評価にあたり、どのようにリスクを識別・分類・分析・評価したのか、リスクへの対応に当たり、リスクを回避・低減・移転・受容したのか、わかりやすく説明すべき。（吉田先生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・拝承。今後も、SA 研究で得られた成果や国内外の研究動向を把握しながら、取り組んでいく。他事業との連携について、資料 4-2（P56）に追記する。 ・拝承。内部事象と外部事象のリスク評価を行い、リスクが顕在化するところを特定するように、事業を実施していく。 ・原子力規制検査におけるリスク評価結果の活用事例について、資料 4-3-1（P67）に追記する。 ・なお、一者応札理由の記載の追加について、（P72,73,74）参照。

外部有識者点検対象事業に係る所見（案）

No.	事業名	所見	対応方針
028	実機材料等を活用した経年劣化評価・検証事業	<ul style="list-style-type: none"> ・諸外国で実施されている類似研究や共同プロジェクトで実施している類似研究との違いや関連性を明示すべき。（飯島先生） ・今後、事業の「成果の概要や活用方針」を作成すべき。また、単に事業者が用いる評価モデル等の保守性を確認するだけでなく、様々な定量的な解析の技術と実機材料との比較により、可能であれば余裕の定量的把握を含めて、現在の手法で不足していた事項等の研究をすべき。（村松先生） ・レビューシートの記載について、「費目・使途」欄の事業費の使途の実態を表すように具体的に記載すべき。（吉田先生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・拝承。資料 5-3（P84）に追記・修正する。 ・拝承。今後、事業の「成果の概要や活用方針」を作成する。また、コメントを参考として、今後事業を進めていく。 ・拝承。資料 5-4 のレビューシートの「費目・使途」欄の事業費の使途を具体的な記載に修正した。再委託先については、最終公表までに記載する。 ・なお、一者応札理由の記載の追加について、（P92,93,94,96）参照。
039	放射線安全規制研究戦略的推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・人材、特に若手研究者の育成という目的をレビューシート等で明示すべき。また、関係省庁との連携についても記載すべき。（飯島先生） ・来年度以降、事業の実施体制が変わるが、これまでの実施成果を十分に生かす工夫をすること。（村松先生） ・事故やトラブルによる被ばくのリスクについての研究も実施すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度以降の目的を資料 6-3-2（P97）に追記する。 ・関係部署と連携し、成果の効果的な活用方針を検討していく。 ・なお、一者応札理由の記載の追加について、（P103）参照。 ・事故やトラブルによる被ばく（潜在被ばく）のリス

外部有識者点検対象事業に係る所見（案）

No.	事業名	所見	対応方針
		<p>その際には、個別施設のリスクの程度に応じた合理的な対応（無用の負担の防止）に留意するとともに、国内で発生した事故・トラブルの情報共有や国内外で得られる統計情報の活用可能性も検討すること。 （村松先生）</p> <p>・海外出張の削減で旅費がどのくらい削減できるのか。本事業に限らず、来年度概算要求にも反映すべき。（吉田先生）</p>	<p>クについても、今後の研究テーマの候補の1つとして検討していく。</p> <p>・現状を踏まえ、どのくらい旅費の削減ができるのか検討し、来年度概算要求に反映させる。</p>